

「川に学ぶ体験活動協議会」の活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 大井 里美

「川に学ぶ体験活動協議会」(略称RAC)は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川の人々の関係をより深いものにしていくことを目的に、平成12年9月に設立されました。令和6年度につきましては各所での河川活動など活発になり、ライフジャケットのレンタルも増えてきました。今年も水難事故のゼロを目指して活動をしていきたいと考えています。

【第23回川に学ぶ体験活動全国大会 in 信濃大町について】

令和6年度のRAC全国大会は9月28日(土)から29日(日)にわたり信濃大町で開催いたします。大町市は北アルプスを眼前にのぞむ信濃川水系の最上流部の一つであり、豊かな水の恵みを受けて古くから川を利活用してきた歴史があります。本大会は2部制で開催します。1部は行政や河川管理者が集い、RACの事例発表を行い、情報共有をいたします。2部では大町市の市民フォーラム・大町「水の学校」を開催し、記念講演やポスターコンクールなど開催します。記念講演では気象予報士の依田司氏より「お天気から見える地球の未来」を題目にお話をさせていただきます。また、翌日は犀川でのラフティング、大町ダム見学、青木湖サップ体験、サントリー信濃の森工場見学など魅力的なエクスカッションが満載です。詳細につきましては8月中にはRACホームページにてご案内いたします。



【玉川高島屋及び多摩川における環境と安全に関する学習イベントについて】

多摩川における環境と安全に関する学習イベントを下記の通りに開催予定です。当法人の理事の声掛けにより玉川高島屋様のご協力及び様々な企業からのご協賛をいただき開催いたします。当法人の理事の講話では、「川の生き物が安心して棲息するには・川の流れや生き物の活動を知ることの大切さを知る」などのお話をいたします。併せて、川の指導者講座及び多摩川でのEボート乗船体験も行います。詳細につきましては玉川LOOPのホームページに掲載中、現在、RACのホームページにも掲載中です。

開催日時：令和6年9月21日(土)

9：00～ 川の指導者講習会

10：30～ 川と生き物についてのお話

12：00～ Eボート体験環境教育(予定)

【荒川放水路100周年記念イベント】

2024年は荒川放水路通水100周年になります。100周年を記念して岩淵水門の前でEボート乗船体験会を開催予定です。水面から荒川周辺を見ていただき、当時のことを感じていただければと思います。荒川放水路は洪水から首都圏を守るため1930年に完成した人工的に開削された放水路です。それまで頻繁に洪水にみまわれていましたが、1910年に発生した洪水を受けて現在の荒川放水路を建設することになりました。岩淵の下流から中川の河口方面に向けて延長22キロ、幅500メートルの放水路を開削し、1924年に荒川放水路として通水を開始しました。詳細につきましては8月末ごろにホームページに掲載予定です。

